

第34回 全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会
ねんりんピックかながわ2022

神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔 未病改善でスマイル100歳

2022/11/12(土) - 2022/11/15(火)

神奈川県 湯河原町

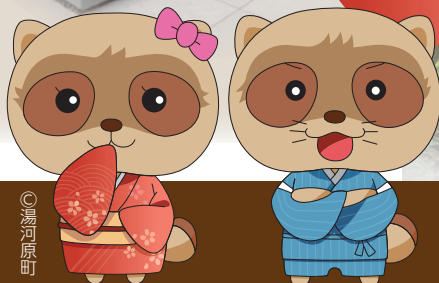
俳句交流大会 報告書

【開催日】令和4年11月13日(日)

【大会会場】湯河原町民体育館

【吟行会場】「万葉公園」「五所神社」

多くの皆様方のご参加
ありがとうございます
ございました



【主催】厚生労働省 神奈川県 横浜市 川崎市 相模原市 一般財団法人長寿社会開発センター 湯河原町
【共催】スポーツ庁 【主管】神奈川県現代俳句協会
【後援】公益社団法人日本伝統俳句協会 現代俳句協会 公益社団法人俳人協会

目次

I	俳句交流大会の概要	1～3
	1 募集句の実施	
	2 当日句の実施	
	3 記念式典・表彰式の開催	
II	輸送交通	4
	1 計画輸送の実施	
	2 交通安全対策	
	3 駐車場対策	
III	医療救護及び健康イベント	4
	1 医療救護の実施	
	2 健康イベントの実施	
IV	歓迎・おもてなし	5～6
	1 歓迎装飾の実施	
	2 歓迎・おもてなしの取組み	
V	昼食場所等の確保	6
	1 参加者の昼食場所等の確保	
	2 大会関係者の昼食場所等の確保	
VI	広報・啓発活動	7
	1 広報活動	
	2 大会映像記録の発信	
VII	その他	8～12
	1 大会運営体制	
	2 検討・準備経過	
	3 大会協力団体	
	【上位入賞作品一覧】	13～38
	【写真一覧】	39～51

テーマ

神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔
～未病改善でスマイル 100 歳～

シンボルマーク



老いも若きも仲よく、ともに生きていく社会を二人の人物で表しています。また、2つの円は、その組み合わせにより、お互いに助け合い、健康と福祉の輪が未来に向かって広がっていくことを意味しています。

マスコットキャラクター



大人から子供まで、広く親しまれる神奈川県PRキャラクター「かながわキンタロウ」を「ねんりんピックかながわ2022」のマスコットキャラクターに採用しました。

手にはトレードマークである「まさかり」と「ねんりんピックかながわ2022」の旗を持っています。

たくさんの年輪が刻まれた切り株の上に乗る、「ねんりんピックかながわ2022」を元気いっぱいに応援します！

I 俳句交流大会の概要

1 募集句の実施

項目	内容
(1) 投句規定	
募集期間	●令和4年4月1日（金）から5月31日（火）まで（当日消印有効）
募集区分	ア 高齢者部門（60歳以上） イ 一般部門（60歳未満） ウ ジュニア部門（小学生・中学生・高校生）
(2) 投句方法	
投句方法	●所定の用紙等による応募（投句） 所定の用紙等に、未発表作品1人2句（雑詠）以内を楷書で記入し、住所・氏名など必要事項を明記 ●ホームページによる応募（投句） 大会参加申込専用ホームページに必要事項を登録
(3) 投句結果	
投句数	【総数】6,916句 【内訳】高齢者 2,783句 一般 339句 ジュニア 3,794句 ⇒ 16～17頁「募集句作品投句状況一覧」参照
(4) 審査等	
推薦選者	●次の各俳句団体の推薦選者により審査を行い、入賞者を決定 【高齢者部門・一般部門】 ・現代俳句協会（3名） ・公益社団法人俳人協会（3名） ・公益社団法人日本伝統俳句協会（3名） ・神奈川県現代俳句協会（1名） 【ジュニア部門】 ・神奈川県現代俳句協会（3名） ⇒ 14頁「選者一覧（募集句）」参照
入賞者	●次の各部門の上位入賞者に賞状等を贈呈 【高齢者部門・一般部門】 ・選者特選賞（各10句） 賞状、楯及び協賛品を贈呈 ・正賞（各10句） 賞状、メダル及び協賛品を贈呈 ・准賞（各10句） 賞状、メダル及び協賛品を贈呈 【ジュニア部門】 ・優秀賞（小・中・高校生各10句） 賞状、メダル及び協賛品を贈呈 ⇒ 19頁「募集句入賞・入選作品一覧」参照

※入賞者に対する各賞協賛品は ㈱ちぼりホールディングス様のご協力をいただきました。

2 当日句の実施

項目	内容
(1) 吟行会	
開催日時	●令和4年11月13日(日) 9:00~11:00
大会会場	●湯河原町民体育館
吟行会場	●万葉公園 ●五所神社
日 程	9:00~ 受付開始(プログラム・所定用紙等の配付) 9:00~11:00 吟行会 11:00~12:00 昼食・休憩、各種おもてなしの実施 10:00~12:00 未病改善教室の実施
(2) 投句規定	
年齢区分	●なし(小・中・高校生の参加可)
投句料	●無料
締切時間	●午前11:00
(3) 投句方法	
投句方法	●大会会場(受付)及び吟行会場にて配付する「所定の用紙」に、未発表作品(吟行会場周辺の属目)1人2句以内を楷書で記入の上、大会会場に設置した投句箱に投句
(4) 投句結果	
参加者数	●163名
投句数	●313句
(5) 審査等	
推薦選者	●次の各俳句団体の推薦選者により審査を行い、入賞者を決定 ・現代俳句協会(3名) ・公益社団法人俳人協会(3名) ・公益社団法人日本伝統俳句協会(3名) ・神奈川県現代俳句協会(6名) ⇒ 15頁「選者一覧(当日句)」参照
入賞者	●次の上位入賞者に賞状等を贈呈 ・大会会長特賞(1句) 賞状、盾、副賞及び協賛品を贈呈 ・選者特選賞(15句) 賞状、楯及び協賛品を贈呈 ・正賞(15句) 賞状、メダル及び協賛品を贈呈 ・准賞(15句) 賞状、メダル及び協賛品を贈呈 ⇒ 34頁「当日句入賞・入選作品一覧」参照

※大会会長特賞の副賞は『湯河原焼皿(桐箱付)』を贈呈しました。

※入賞者に対する各賞協賛品は(株)ちぼりホールディングス様のご協力をいただきました。

3 記念式典・表彰式の開催

【会場】 湯河原町民体育館 【総司会会】 民謡歌手・湯河原町観光大使 小山みつな 氏

記念式典等の開催に当たっては、意思疎通支援として手話通訳者が派遣されました。

【手話通訳者】 車谷 佐智子 氏、菅沼 昌子 氏

項目	内容
(1) 記念式典	
開始式	<p>【12:00～12:15】 オープニングセレモニー [民謡歌手 小山みつな 氏 ほか]</p> <p>【12:30～13:00】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大会会長あいさつ [湯河原町長 富田 幸宏] 2 歓迎のことば [湯河原町議会議長 山本 俊明] 3 選者紹介 4 選者あいさつ [公社日本伝統俳句協会常務理事 岡安 紀元 氏] 5 歓迎アトラクション [狂言師 大藏 彌太郎 氏]
記念講演	【13:00～14:00】 演題『俳句と霊性』 黛 まどか 先生
(2) 休憩 【14:00～14:20】	
(3) 表彰式	
募集句	<p>【14:20～15:00】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 募集句入選者の発表及び表彰 (⇒ 19頁「募集句入賞・入選作品一覧」参照) <p>【当日出席者】 ※欠席者には、後日、郵送にて賞状等を贈呈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者部門 (選者特選賞2名・正賞3名・准賞3名) ・一般部門 (選者特選賞3名・正賞5名・准賞6名) ・ジュニア部門 (優秀賞10名) <ol style="list-style-type: none"> 2 募集句の選評 [現代俳句協会副会長 筑紫 磐井 氏]
当日句	<p>【15:00～15:50】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 当日句入選者の発表及び表彰 (⇒ 34頁「当日句入賞・入選作品一覧」参照) <ul style="list-style-type: none"> ・大会会長特賞 1名 ・選者特選賞 15名 ・正賞・准賞 各15名 <ol style="list-style-type: none"> 2 当日句の選評 [公益社団法人俳人協会理事 今井 聖 氏]
(4) 閉会式	
閉会式	【15:50～16:00】 閉会のことば [湯河原町実行委員会副会長 北村 満]

II 輸送交通

1 計画輸送の実施

参加者等の安全かつ確実な輸送交通の手段を確保するため、大会会場、湯河原駅、吟行会場（万葉公園、五所神社）、町立湯河原美術館間の無料シャトルバスによる計画輸送を実施しました。

(1) 運行経路

大会会場⇔湯河原駅⇔吟行会場（五所神社・万葉公園）⇔町立湯河原美術館

(2) 運行時間等

【午前】 8 : 15 ~ 11 : 50 33 本（5～15分間隔で運行）

【午後】 16 : 00 ~ 17 : 00 5 本（15分間隔で運行）

2 交通安全対策

参加者等が安全かつ円滑に移動できるよう、大会会場・吟行会場及び周辺の主要箇所に案内看板を設置するとともに、交通誘導員を配置しました。

3 駐車場対策

大会会場周辺の駐車場の確保に当たっては、会場内駐車場に加え、隣接する医療機関（JCHO湯河原病院）の駐車場を無料開放しました。

また、吟行会場周辺においては、十分な駐車場の確保等が困難であるため、無料シャトルバス及び公共交通機関の積極的な利用を呼びかけました。

III 医療救護及び健康イベント

1 医療救護の実施

(1) 救護所の設置

参加者等の迅速な医療救護を行うため、大会会場（中央区民会館）に「救護所」を設置しました。

(2) 医療救護体制の確保

救護所に保健師を配置し、傷病者の応急処置等に対応できる体制を確保するとともに、救急車両1台を配備し、医療機関への速やかな搬送等が可能となる体制を確保しました。

また、大会当日の休日当番医を、大会会場に隣接する医療機関（JCHO湯河原病院）となるよう調整しました。

2 健康イベントの実施

参加者等が健康長寿の素晴らしさを実感し、生涯を通して健康づくりに取り組むきっかけとなるよう「未病改善教室」を実施しました。

【日 時】 令和4年11月13日（日） 10時00分～12時00分

【場 所】 中央区民会館（救護所）

【内 容】 保健師による健康相談及び未病改善パンフレット等の配布

IV 歓迎・おもてなし

1 歓迎装飾の実施

全国から来訪される参加者等に対し、歓迎の気持ちを伝えるため、のぼり旗や横断幕の設置等を実施しました。

内容等	設置場所等
のぼり旗（150本） 歓迎看板（29枚）	大会会場、吟行会場、湯河原駅その他町内主要箇所に設置 【設置期間】令和4年10月14日（金）～11月13日（日）
横断幕（3張）	吟行会場（万葉公園）及び大会会場に設置 【設置期間】令和4年11月12日（土）・13日（日）
駅前LED掲示板	湯河原駅前LED掲示板に歓迎装飾を表示 【表示期間】令和4年10月24日（月）～11月13日（日）
美化活動の実施	湯河原町老人クラブ連合会による美化活動の実施 【実施日時】令和4年11月4日（金）午前中 【実施内容】大会会場のゴミ収集、草刈りなどの清掃活動 【参加人数】会員21名

2 歓迎・おもてなしの取組み

(1) 参加記念品の贈呈

本町の魅力を感じていただけるよう、町の特産品を観光PRバックに入れ参加者全員に贈呈しました。

〔時間〕9:00～11:00（投句受付時間） 〔場所〕投句受付所

〔贈呈品〕『湯河原温泉入浴セット』（入浴剤・温泉石鹸）

『季彩オイル』（100ml）

『サブレサンドみかんジャム』

(2) 特産品のふるまい

新型コロナウイルス感染防止等を踏まえ、個別包装された町の銘菓を参加者全員に贈呈しました。

〔時間〕9:00～11:00（投句受付時間） 〔場所〕投句受付所

〔贈呈品〕『湯河原銘菓 きび餅』（made in ゆがわら認定品）1箱

(3) 湯茶の無料サービス

新型コロナウイルス感染防止等を踏まえ、神奈川県産の茶缶飲料を参加者全員に贈呈しました。

〔時間〕9:00～11:00（投句受付時間） 〔場所〕投句受付所

〔贈呈品〕『足柄茶』1本

(4) 特産品の販売サービス

柑橘類や手づくりジャムなど町の特産品を販売する「農産物販売ブース」を設置しました。

〔時間〕10:00～16:30 〔場所〕町民体育館横テント

(5) 観光コンシェルジュの設置

観光パンフレットやおすすめ観光コースなどを案内する「観光コンシェルジュ（出張観光案内所）」を設置しました。

〔時間〕 10:00～16:30 〔場所〕 町民体育館横テント

(6) まちのコンシェルジュの配置

参加者等に対して、大会日程やまち歩き、昼食場所等を案内する「まちのコンシェルジュ」を配置しました。

〔配置場所〕 湯河原駅、会場内イートインスペース周辺

〔配置時間〕 8:30～12:00 〔配置人数〕 11名

(7) 観光ボランティアの配置

町の観光名所や歴史等を案内する「観光ボランティア」を配置しました。

〔配置場所〕 吟行会場 〔配置時間〕 8:30～12:00 〔配置人数〕 6名

(8) 町立湯河原美術館の無料開放

参加者等が町立湯河原美術館を気軽に鑑賞できるよう無料開放しました。

〔時間〕 9:00～16:00（大会当日限り）

〔条件〕 参加受付の際に配付するリングを美術館受付で提示すること

V 昼食場所等の確保

1 参加者の昼食場所等の確保

参加者の昼食等は各自の対応とする一方で、限られた時間の中で確実に昼食場所等の確保が図れるよう、次のような取組みを実施しました。

(1) 昼食マップの作成等

湯河原町商工会が作成する『お店ガイド』『なるほど情報局』を活用するとともに、湯河原駅・大会会場周辺の飲食店、スーパー、コンビニエンスストア等をまとめた『会場周辺飲食店マップ』を作成・配付しました。

(2) 無料シャトルバスの運行

湯河原駅周辺の飲食店が利用しやすくなるよう、昼食・休憩時間帯においても無料シャトルバスを定期運行（5～15分間隔）しました。

(3) イートインスペースの設置

大会会場内にイートインスペース（屋内外各1か所）を設置するとともに、キッチンカー（2台）を配置しました。

2 大会関係者の昼食場所等の確保

選者その他大会関係者（町職員従事者を除く。）の昼食及び休憩場所を用意しました。また、町職員従事者には、大会当日にキッチンカー等で利用できる昼食券（500円券×2枚）を配付しました。

VI 広報・啓発活動

1 広報活動

(1) 全国への開催情報の発信

全国の関係機関・関係団体に大会パンフレット等を送付しました。

時 期	送付先	送付総数
令和4年3月	全国の俳句結社その他関係機関・団体	2,405 団体
令和4年10月	神奈川、東京、静岡所在の俳句結社	227 団体

(2) 町広報紙等への掲載

広報ゆがわら、地方紙等に関連情報を随時掲載しました。

(3) インターネット等の活用

町ホームページ、大会専用サイトの活用 及び YouTube の開設等により、開催案内、プロモーションビデオその他関連情報を随時、発信しました。

(4) パンフレットの作成等

パンフレットを作成し、関係機関窓口、各種イベント等で配布するとともに、のぼり旗（150 本）を町内主要箇所に設置しました。

(5) 啓発グッズの作製・配布

大会PR向けオリジナルグッズを作製し、各種イベント等で配布しました。

啓発オリジナルグッズ	作製数
携帯用消毒スプレーボトル	200 個
ファイルケース・ボールペン	各 1,000 枚（本）

(6) リハーサル大会の開催

「令和3年度湯河原文学賞」とのコラボレーションによる『ねんりんピックかながわ 2022 俳句交流リハーサル大会』を開催し、パンフレット等を配布するとともに、上位入賞者にねんりんピック特別賞を授与しました。

[開催日時] 令和3年11月20日（日） 14:30~16:30

[投 句 数] 募集句（3,555 句） 当日句（50 句）

[特別賞授与] 募集句（3 句） 当日句（3 句）

[賞 品] 5千円相当記念品（made in ゆがわら認定品詰合せ）

(7) 俳句教室の開催

高齢者・一般向け、ジュニア向けの俳句入門教室を開催しました。

[一般向け] 令和3年度（講師協力）湯河原俳句協会

[ジュニア向け] 令和4年度（講師協力）神奈川県現代俳句協会

2 大会映像記録の発信

大会の様子を写真・映像に記録するとともに、町ホームページやSNS等で広く発信しました。

大会本編、ダイジェスト版などをYouTube ちゃんねる『ねんりんピック in 湯河原』で発信しています。

VII その他

1 大会運営体制（令和4年11月13日現在）

(1) ねんりんピックかながわ2022 湯河原町実行委員会名簿（敬称略、順不同）

役職	所属	氏名
会長	湯河原町長	富田 幸宏
副会長	湯河原町区長連絡協議会 鍛冶屋区長	北村 満
委員	神奈川県現代俳句協会会長	尾崎 竹詩
委員	湯河原俳句協会運営委員	高橋しのぶ
委員	湯河原町老人クラブ連合会会長	川口 勝文
委員	湯河原町民生委員・児童委員協議会会長	梅原 紘明
委員	社会福祉法人湯河原町社会福祉協議会会長	小澤 稔
委員	湯河原町食育サポート会長	鐘築 洋子
委員	湯河原町商工会会長	杉山 修
委員	一般社団法人湯河原温泉観光協会会長	石田 浩二
委員	湯河原温泉旅館協同組合理事長	室伏 学
委員	かながわ西湘農業協同組合湯河原中央支店長	朝倉 宏明
委員	一般社団法人小田原医師会湯河原班医師	岩崎 洋
委員	湯河原町教育委員会教育長	菅沼 浩行
委員	湯河原町校長会湯河原小学校校長	北村 和裕

(2) ねんりんピックかながわ2022 湯河原町運営委員会名簿（敬称略、順不同）

役職	所属	氏名
委員長	湯河原町 政策グループ参事	内藤 喜文
副委員長	〃 福祉グループ参事	石井あゆみ
委員	〃 教育委員会グループ参事	富士川 貢
委員	〃 消防本部消防長	菅沼 安幸
委員	〃 地域政策課長	目黒 圭介
委員	〃 観光課長	宮下 睦史
委員	〃 農林水産課長	高杉二三生
委員	〃 保健センター所長	松野 善一

(3) 職員等協力体制

実行委員会等		職員等配置場所	配置数(人)
実行委員会 (会長) 富田 幸宏	運営委員会 (委員長) 内藤 喜文	(1) 吟行会場等エリア 【エリア責任者】 宮下 睦史	
		万葉公園	3
		五所神社	3
		湯河原駅	6
		湯河原美術館	2
		(2) 大会会場エリア 【エリア責任者】 松野 善一	
		参加受付	2
		投句受付	2
		受賞者等受付	3
		会場案内	7~11
		駐車場・バス誘導	6~16
		(3) おもてなしエリア 【エリア責任者】 大川 美子	
		イートインスペース	2
		未病改善・健康ブース	4
		農産物販売ブース	1
		観光コンシェルジュ	2
		(4) 舞台・演芸エリア 【エリア責任者】 二見 哲哉	
		舞台担当	8
		司会者	1
		オープニング出演者	1
		伝統芸能	1
		(5) 来賓・関係者エリア 【エリア責任者】 小澤 忍	
		来賓等受付	4
		来賓等案内・誘導	11
		表彰式補助	6
		(6) 選句・集計エリア 【エリア責任者】 鈴木 義則	
		選句準備	2
		採点集計	2
作品入力	5~10		
表彰準備	4		
(7) 大会本部 【エリア責任者】 石井あゆみ			
連絡調整	2		
庶務	6		
警備・防災	2		

2 検討・準備経過

開催日	開催概要
令和2年 7月29日(水) 設立総会 ／第1回総会	【主な議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・湯河原町実行委員会の設立について ・湯河原町実行委員会会則の制定について ・湯河原町実行委員会事務局規程及び会計規程の制定について ・運営委員会への委任事項(案)について 等
8月31日(月)	ねんりんピック岐阜大会の延期に伴う新たな会期等の決定 [令和4年度開催に決定]
9月1日(火) 第2回総会 (書面開催)	【主な議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・湯河原町実行委員会会則の一部改正等について ・ねんりんピックかながわ2021の会期等について ・運営委員会の構成について 等
令和3年 6月1日(火) 第3回総会 (書面開催)	【主な議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・湯河原町実行委員会令和3年度収支予算(案)について ・湯河原町実行委員会令和3年度事業計画(案)について ・競技主管団体準備事業補助金交付要綱(案)について ・俳句交流リハーサル大会について 等
7月8日(木) 第1回 運営委員会	【主な議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会の役割等について ・俳句交流リハーサル大会について ・吟行会場及び講演会講師について 等
8月20日(金) 第2回 運営委員会	【主な議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・各種実施計画(素案)について ・大会パンフレット(素案)について ・町紹介ページ(案)について 等
9月2日(木)	ねんりんピック岐阜大会の中止の決定
10月21日(木) 第3回 運営委員会	【主な議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・各種実施計画(素案)について ・大会パンフレット(案)について ・開催事業費積算表について 等
11月20日(土)	ねんりんピックかながわ2022俳句交流リハーサル大会の開催
12月14日(火) 第4回総会	【主な議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・各種実施計画(案)について ・町紹介ページ等について 等

開催日	開催概要
令和4年 5月20日（金） 第5回総会 （書面開催）	【主な議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度収支決算について ・ 令和3年度事業実績について ・ 令和4年度収支予算（案）について ・ 令和4年度事業計画（案）について ・ 俳句交流大会先催市町への視察について 等
6月20日（月） 第4回 運営委員会	【主な議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種実施計画について ・ 令和4年度収支予算について 等
7月28日（木） 第5回 運営委員会	【主な議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種実施計画について ・ 種目別プログラム（案）について 等
10月6日（木） 第6回 運営委員会	【主な議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 従事者配置計画（案）について ・ 種目別プログラムについて 等
10月24日（月） 第6回総会	【主な議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報PR活動等について ・ 募集句について ・ 当日句（吟行会）について ・ 開始式・表彰式について ・ 従事者配置計画について 等
11月13日（日）	ねんりんピックかながわ 2022 俳句交流大会開催
令和5年 3月8日（水） 第7回総会	【主な議題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度収支決算（見込み）及び決算承認の会長への委任について ・ 大会実施報告について ・ 実行委員会の解散及び会則等の廃止について 等

3 大会協力団体（敬称略、順不同）

神奈川県現代俳句協会

湯河原俳句協会

湯河原町区長連絡協議会

湯河原町老人クラブ連合会

湯河原町民生委員・児童委員協議会

社会福祉法人 湯河原町社会福祉協議会

湯河原町食育サポート

湯河原町商工会

一般社団法人 湯河原温泉観光協会

湯河原温泉旅館協同組合

かながわ西湘農業協同組合

一般社団法人 小田原医師会湯河原班

湯河原町校長会

小田原交通安全協会湯河原支部

湯河原まちづくりボランティア協会

湯河原惣研株式会社（万葉公園）

五所神社

神奈川県立小田原養護学校湯河原校舎

特定非営利活動法人 湯河原町地域作業所たんぽぽ

独立行政法人地域医療機能推進機構 湯河原病院

明治安田生命株式会社 平塚支社熱海営業所 ほか



上位入賞作品一覽



1 選者一覧（募集句）

[高齢者部門・一般部門]

岩岡 中正

（公社）日本伝統俳句協会会長 熊本大学名誉教授・博士（法学）

稲畑 廣太郎

（公社）日本伝統俳句協会副会長 （公財）虚子記念文学館理事長
国際俳句交流協会監事

大輪 靖宏

（公社）日本伝統俳句協会常務理事 文学博士 上智大学名誉教授

中村 和弘

俳人 現代俳句協会会長 日本文藝家協会会員

筑紫 磐井

俳人 現代俳句協会副会長

永井 江美子

俳人 現代俳句協会副会長 東海地区現代俳句協会会長

森田 純一郎

（公社）俳人協会理事・関西支部長

鈴木 しげを

（公社）俳人協会名誉会員

西山 睦

（公社）俳人協会理事 詩歌文学館評議員 日本文藝家協会会員

田中 悦子

神奈川県現代俳句協会副会長 横浜俳話会幹事

[ジュニア部門]

尾崎 竹詩

現代俳句協会理事 神奈川県現代俳句協会会長

田畑 ヒロ子

神奈川県現代俳句協会副会長

芳賀 陽子

現代俳句協会理事 神奈川県現代俳句協会事務局長

2 選者一覧（当日句）

岡安 紀元

（公社）日本伝統俳句協会常務理事

木村 享史

（公社）日本伝統俳句協会監事 横浜俳話会顧問

田丸 千種

（公社）日本伝統俳句協会常務理事

秋尾 敏

現代俳句協会副会長 全国俳誌協会会長 千葉県俳句作家協会理事長
野田俳句連盟会長

筑紫 磐井

俳人 現代俳句協会副会長

後藤 章

俳人 現代俳句協会幹事長 俳誌「少年」会員

今井 聖

（公社）俳人協会理事

權 未知子

（公社）俳人協会理事

徳田 千鶴子

（公社）俳人協会理事 日本文藝家協会会員

伊藤 眠

神奈川県現代俳句協会副会長 横浜俳話会副会長

大本 尚

神奈川県現代俳句協会副会長

内藤 ちよみ

神奈川県現代俳句協会副会長 横浜俳話会参与

平田 薫

神奈川県現代俳句協会幹事（経理部長）

なつ はづき

現代俳句協会幹事（研修部長） 神奈川県現代俳句協会幹事（横浜ブロック長）

佐藤 久

神奈川県現代俳句協会幹事（事業部長）

3 募集句作品投句状況一覧【高齢者部門・一般部門】

単位：句

都道府県名等		高齢者部門	一般部門	小計	都道府県名等		高齢者部門	一般部門	小計
1	北海道	16	2	18	35	徳島	16	4	20
2	青森	33	2	35	36	香川	6	0	6
3	岩手	18	5	23	37	愛媛	24	2	26
4	宮城	4	4	8	38	高知	4	2	6
5	秋田	12	0	12	39	福岡	23	6	29
6	山形	6	2	8	40	佐賀	6	0	6
7	福島	29	5	34	41	長崎	23	0	23
8	茨城	67	13	80	42	熊本	16	4	20
9	栃木	26	0	26	43	大分	14	2	16
10	群馬	183	15	198	44	宮崎	20	0	20
11	埼玉	87	15	102	45	鹿児島	4	0	4
12	千葉	114	10	124	46	沖縄	2	0	2
13	東京	214	21	235	47	札幌市	21	4	25
14	新潟	20	0	20	48	仙台市	8	2	10
15	富山	32	2	34	49	さいたま市	29	2	31
16	石川	8	0	8	50	千葉市	16	2	18
17	福井	2	2	4	51	横浜市	246	13	259
18	山梨	18	2	20	52	川崎市	0	0	0
19	長野	71	19	90	53	相模原市	57	5	62
20	岐阜	59	0	59	54	新潟市	2	5	7
21	静岡	85	15	100	55	静岡市	10	0	10
22	愛知	79	6	85	56	浜松市	18	0	18
23	三重	6	0	6	57	名古屋市	20	10	30
24	滋賀	22	2	24	58	京都市	21	7	28
25	京都	69	6	75	59	大阪市	20	0	20
26	大阪	29	6	35	60	堺市	1	0	1
27	兵庫	37	2	39	61	神戸市	23	2	25
28	奈良	29	0	29	62	岡山市	0	2	2
29	和歌山	51	6	57	63	広島市	6	0	6
30	鳥取	29	0	29	64	北九州市	6	0	6
31	島根	20	0	20	65	福岡市	6	0	6
32	岡山	8	4	12	66	熊本市	10	4	14
33	広島	10	0	10	67	神奈川	577	91	668
34	山口	35	4	39	合計		2,783	339	3,122

4 募集句作品投句状況一覧【ジュニア部門】

単位：句

都道府県名等		小学生	中学生	高校生	小計	都道府県名等		小学生	中学生	高校生	小計
1	北海道	0	0	0	0	35	徳島	0	0	0	0
2	青森	0	0	0	0	36	香川	0	0	0	0
3	岩手	0	0	10	10	37	愛媛	0	0	18	18
4	宮城	0	0	2	2	38	高知	0	0	0	0
5	秋田	0	0	0	0	39	福岡	0	42	8	50
6	山形	0	0	0	0	40	佐賀	0	0	0	0
7	福島	0	0	0	0	41	長崎	0	123	2	125
8	茨城	4	55	43	102	42	熊本	28	4	0	32
9	栃木	0	0	4	4	43	大分	0	0	0	0
10	群馬	0	0	0	0	44	宮崎	0	0	0	0
11	埼玉	0	5	17	22	45	鹿児島	0	0	0	0
12	千葉	51	0	0	51	46	沖縄	8	0	0	8
13	東京	4	4	4	12	47	札幌市	0	0	0	0
14	新潟	2	0	0	2	48	仙台市	0	0	2	2
15	富山	236	1	0	237	49	さいたま市	0	0	0	0
16	石川	0	0	0	0	50	千葉市	0	0	0	0
17	福井	0	0	0	0	51	横浜市	1	799	0	800
18	山梨	0	0	0	0	52	川崎市	118	0	0	118
19	長野	0	0	0	0	53	相模原市	0	0	0	0
20	岐阜	0	276	0	276	54	新潟市	0	0	0	0
21	静岡	0	0	0	0	55	静岡市	0	0	0	0
22	愛知	189	3	177	369	56	浜松市	0	0	0	0
23	三重	0	0	0	0	57	名古屋市	0	24	0	24
24	滋賀	0	0	0	0	58	京都市	0	0	0	0
25	京都	2	2	0	4	59	大阪市	0	0	0	0
26	大阪	0	13	0	13	60	堺市	0	0	0	0
27	兵庫	0	0	0	0	61	神戸市	0	0	0	0
28	奈良	0	0	0	0	62	岡山市	0	0	0	0
29	和歌山	0	0	0	0	63	広島市	0	0	0	0
30	鳥取	0	0	0	0	64	北九州市	0	0	0	0
31	島根	0	0	0	0	65	福岡市	0	38	0	38
32	岡山	0	0	0	0	66	熊本市	2	0	8	10
33	広島	0	0	0	0	67	神奈川	634	382	200	1,216
34	山口	0	0	249	249	合計		1,279	1,771	744	3,794

5 募集句の選句スケジュール

日程（令和4年）	内 容
4月1日（金） ～5月31日（火）	募集句の受付 応募総数 6,916句
6月1日（水） ～6月15日（水）	応募句の入力作業
6月17日（金） ～7月11日（月）	選句依頼 [募集句選者13名]
7月12日（火）	上位入賞者の内定
7月13日（水） ～7月20日（水）	類似句審査 [神奈川県現代俳句協会]
7月29日（金）	上位入賞者の確定・入賞通知の送付 [高齢者部門] 選者特選賞（10名） 正賞（10名） 准賞（10名） [一般部門] 選者特選賞（10名） 正賞（10名） 准賞（10名） [ジュニア部門] 優秀賞 小学生（10名） 中学生（10名） 高校生（10名）

募集句入賞・入選作品一覽

【高齢者部門・一般部門】

《高齢者部門》

選者特選賞……………20

《一般部門》

選者特選賞……………21

《高齢者部門》

正賞……………22

准賞……………23

入選……………24

《一般部門》

正賞……………25

准賞……………26

入選……………27

【シニア部門】

優秀賞（小学生）……………28

優秀賞（中学生）……………29

優秀賞（高校生）……………30

入選……………31

選者特選賞 【高齢者部門】

稲畑 廣太郎 選

朝顔のぼつと吐き出す夜の匂ひ

神奈川県小田原市

陌間 みどり

大輪 靖宏 選

にこやかな上座の祖父の日焼かな

千葉県千葉市

後藤 菊子

岩岡 中正 選

玄関に肩より降ろす今年米

北海道苫小牧市

竹内 美枝子

中村 和弘 選

近付けば又退るなり虫の声

神奈川県横浜市

松尾 青柚

筑紫 磐井 選

サーフィンの風に遊ばれ右左

神奈川県横浜市

小林 碧江

永井 江美子 選

太陽のような花束母の日に

三重県多気郡明和町

田端 裕子

森田 純一郎 選

湯河原の湯煙尽きぬ避寒宿

島根県松江市

吉浦 増

鈴木 しげを 選

湯河原の独鈷の宿の若葉かな

山形県鶴岡市

齋藤 峯男

西山 睦 選

祭り笛にて街並の動き出し

岐阜県大垣市

児玉 朝子

田中 悦子 選

兵戈なき瑞穂の国の麦青む

福岡県大牟田市

西山 勝男

選者特選賞 【一般部門】

稲畑 廣太郎 選

草笛を金色の音に変はるまで 東京都北区 藤色 葉菜

大輪 靖宏 選

滑り台登れば月の匂ひかな 東京都練馬区 伊勢 史朗

岩岡 中正 選

生ビール大きな夢を語り合ふ 埼玉県行田市 大塚 雅彦

中村 和弘 選

玄冬の海より重き津波石 宮城県仙台市 佐藤 広和

筑紫 警井 選

立ち尽くすわれも一木青嵐 宮城県多賀城市 渋谷 史恵

永井 江美子 選

立ち尽くすわれも一木青嵐 宮城県多賀城市 渋谷 史恵

森田 純一郎 選

シャボン玉夢の分だけ吹いてみる 福島県会津若松市 川島 妙

鈴木 しげを 選

はまなすや網を繕ふ漁師の子 和歌山県海南市 山海 和紀

西山 睦 選

草笛を金色の音に変はるまで 東京都北区 藤色 葉菜

田中 悦子 選

遠きかななほ遠き訃と春霞 神奈川県藤沢市 田頭 まゆ

正 賞 【高齢者部門】

カンナ燃ゆわが内にまだ燃ゆるもの	岐阜県多治見市	田口 千恵子
平和とは白寿の母の手毬唄	群馬県伊勢崎市	星野 平一
豊かなる静寂を夜の熱帯魚	神奈川県藤沢市	阿知波 公子
夏館夜風は森の香りのせ	石川県白山市	中村 双舟
一畳を余して母の昼寝かな	神奈川県相模原市	木内 恵美子
悲鳴ほど蛇の長さのなかりけり	神奈川県横須賀市	近藤 穆
海女小屋に干され名入りの鎌二本	千葉県長生郡長生村	刈込 照子
つつかれて無政府となる蝌蚪の国	神奈川県横浜市	菊川 俊朗
常識を少しずらしてかたつむり	神奈川県横浜市	麻生 明
病なき百一歳の冬帽子	福岡県宗像市	梶原 マサ子

准賞 【高齢者部門】

滴りの次の一滴までの黙	宮城県仙台市	渡辺 徹
玄関に肩より降ろす今年米	北海道苫小牧市	竹内 美枝子
富士見ゆる朝は吉なり冬仕度	神奈川県藤沢市	伊関 龍子
コスモスを揺らして通る風の色	新潟県長岡市	岸 祥子
万愚節母よろこばす嘘ひとつ	神奈川県横浜市	関山 恵一
川蟬の無言の行で杭がしら	東京都板橋区	佐々木 いつき
食べる聞く話すが基本昭和の日	富山県南砺市	岩城 未知
闇そぞろ牡丹へ匂へば家近し	福島県伊達市	斎藤 正道
君のふらんこ僕のふらんこすれ違ふ	愛知県喜多郡内子町	毛利 喜子
英会話学ぶは楽しんで膨れて	鳥取県米子市	大下 秀子

入選【高齢者部門】

稲畑 廣太郎 選

滴りの次の一滴までの黙
しろがねの峰くつきりと夏来る
常識を少しずらしてかたつむり
公園の闇一線の初螢
夏館夜風は森の香りのせ
青葉木苑一段と濃き闇夜来る
病葉の風に選ばれ落ちにけり
夜濯や勝ち進む子のユニフォーム
白鷺の瞳の奥に鮎のぼる
代田いま百態の鏡かな

宮城県 渡辺 徹
岩手県 菅原 武男
神奈川県 麻生 明男
東京都 小西 弘子
石川県 中村 双舟
東京都 関戸 水子
神奈川県 坂口 和代
大阪府 古田 小春
静岡県 長澤 智恵子
神奈川県 中林 正稔

大輪 靖宏 選

コスモスを揺らして通る風の色
夏館夜風は森の香りのせ
ほたる観にゆきたい母の手を曳けり
境内に一礼なして掃く落ち葉
つばくろの来て広がる鳥峡の空
観音の遠目差しや鳥帰る空
一暈を余して母の昼寝かな
片恋のままに老いけり遠花火
初登校未知へ飛び出すランドセル
野に還る生家の跡や春寒し

新潟県 岸 祥子
石川県 中村 双舟
東京都 右田 俊郎
兵庫県 カツオ 武士
栃木県 平野 暢行
神奈川県 松本 さき
神奈川県 木内 恵美子
茨城県 栗橋 猛夫
群馬県 大谷 徳湖
神奈川県 吉岡 孝三

岩岡 中正 選

万愚節母よるこばす嘘ひとつ
夏富士や応へて深き駿河湾
鞆や勉強もせず恋もせず
つつかれて無政府となる蝌蚪の国
郵便のどさりと届く暑さかな
生き甲斐となりし俳句や秋のこゑ
裸婦像の夢見心地に浴む夕立
筋を剥く一瞬のパンダかな
生きるとは水に浮くことあめんぼう
おんぶの子平らに寝かす花水木

神奈川県 関山 恵一
大阪府 黒木 まさ子
神奈川県 渡辺 一充
神奈川県 菊川 俊朗
神奈川県 加瀬 和正
新潟県 内藤 孝
神奈川県 渡辺 初子
東京都 城戸 雅崇
兵庫県 西本 真里
神奈川県 池田 直子

中村 和弘 選

豊かなる静寂を夜の熱帯魚
闇そぞろ牡丹匂へば家近し
角巻の海女大鷲のごと行けり
手毬唄消えて戦乱残りけり
ごんごんと足湯流るる夏来たり
マラヤの塩もみこめる胡瓜和
血族の拓く台地や麦の秋
おかえりと言った気のする冷蔵庫
寒杉の香を風が運びし夏座敷
寒灯や一刀彫の木屑飛び

神奈川県 阿知波 公子
福島県 斎藤 正道
神奈川県 臼杵 美代
栃木県 最東 峰
神奈川県 三嶋 恭子
奈良県 池田 雪彦
千葉県 名節 昌
埼玉県 増田 信雄
奈良県 松尾 清朝

筑紫 馨井 選

川蟬の無言の行で杭がしら
英会話学ぶは楽し着膨れて
母の日や何も償いの記憶なし
悲鳴ほど蛇の長さのなかりけり
桜葉降るあの賑ひは嘘のやう
女子通信隊記憶をたぐる老いの春
芽吹き山狂い出したる円周率
深川や木洩れ日の蝌蚪にしがみこむ
ライフルの的のセンター夏の蝶
その紅きポインセチアに罪ありき

東京都 佐々木 いつき
鳥取県 大下 秀子
富山県 高村 寿山
神奈川県 近藤 穆子
埼玉県 平島 肇
群馬県 赤尾 美津江
茨城県 藤 洋子
神奈川県 中島 俊二
東京都 久野 孝子
静岡県 鷹野 幻羊

永井 江美子 選

カンナ燃ゆわが内にまだ燃ゆるもの
君のぶらんこ僕のぶらんこすれ違ふ
豊かなる静寂を夜の熱帯魚
冷奴すくへば曇る銀の匙
青嵐コーヒー豆を挽いてより
耳二つ湿つてきたる河鹿笛
竹だつた記憶の風や山笑ふ
六月の壁に吸はるる雨の音
花筏舟に崩れてまた結び
常識を少しずらしてかたつむり

岐阜県 田口 千恵子
愛知県 毛利 喜子
神奈川県 阿知波 公子
大阪府 小畑 晴子
岐阜県 中橋 博子
神奈川県 西村 弘子
佐賀県 古賀 由美子
神奈川県 永井 良和
神奈川県 下田 克洋
神奈川県 麻生 明

森田 純一郎 選

食べる聞く話すが基本昭和の日
代を搔く水は浅めにしてをきて
足で櫓を操る古老箱眼鏡
病なき百一歳の冬帽子
悲鳴ほど蛇の長さのなかりけり
湯河原の海に向かつて蜜柑咲く
思ひきり闇の奥へと豆を撒く
屋の灯を雨にともして鮎の宿
登山靴揃へ脱ぎある足湯かな
うそ寒やエレベーターに物言はれ

富山県 岩城 未知
和歌山県 田村 喜子
北海道 藤林 正則
福岡県 梶原 マサ子
神奈川県 近藤 穆子
東京都 齋藤 昭信
鳥取県 椋 剛子
神奈川県 黒田 緑
埼玉県 古谷 多賀子
神奈川県 梅津 大八

鈴木 しげを 選

富士見ゆる朝は吉なり冬仕度
師の曰く老いに華あり花衣
まな板に大根一本いかように
読経いま怒濤の如し彼岸寺
海女小屋に干され名入りの鎌二本
いつのまにか似た者同志新茶汲む
琴を弾く指先にまだ歯の灰汁
音たてて水弾みくる野芹摘み
花むしろ平均寿命みな越えて
こころざし魚の研究卒業す

神奈川県 伊関 龍子
千葉県 平野 由紀子
茨城県 若松 恭子
宮崎県 松浦 華世
千葉県 刈込 照子
青森県 秋谷 美智子
群馬県 田村 近子
岩手県 二階堂 光江
群馬県 吉田 美津江
山口県 橋 美泉

西山 睦 選

玄関に肩より降ろす今年米
一暈を余して母の昼寝かな
平和とは白寿の母の手毬唄
海女小屋に干され名入りの鎌二本
鶏頭を活けて生命の立ち上がる
蟬の音の一本になる真昼かな
江の島を丸ごと洗ふ驟雨かな
つつかれて無政府となる蝌蚪の国
病なき百一歳の冬帽子
大きめの茶碗にしましよ豆ご飯

北海道 竹内 美枝子
神奈川県 木内 恵美子
群馬県 星野 平一
千葉県 刈込 照子
神奈川県 井上 由子
秋田県 小林 万年青
岐阜県 大西 誠一
神奈川県 菊川 俊朗
福岡県 梶原 マサ子
神奈川県 栗林 さと子

田中 悦子 選

平和とは白寿の母の手毬唄
カンナ燃ゆわが内にまだ燃ゆるもの
古里は十年一日山眠る
八月や遊び下手なる戦中派
ふる里は山に囲まれ山眠る
小さき手を大きく振つて入学す
この星にたつたひとつの秋の月
缶蹴つてふらここ蹴つて空蹴つて
断捨離やそつと戻した古日記
大黒も檀家も老いて盆用意

群馬県 星野 平一
岐阜県 田口 千恵子
東京都 宇都宮 りつ子
神奈川県 関根 和美
神奈川県 青柳 白芳
栃木県 斎藤 光星
宮崎県 阿万 英也
神奈川県 志村 宗明
神奈川県 菊地 忠昭
兵庫県 田邊 富子

正 賞 【一般部門】

馬術部の白馬眩しき聖五月	岡山県岡山市	井上 すぎ菜
滑り台登れば月の匂ひかな	東京都練馬区	伊勢 史朗
三月の風に絡まる鮑脣	山口県周南市	藤井 香子
曼殊沙華故郷までの道しるべ	奈良県奈良市	浦城 亮祐
あの窓は小児病棟聖樹の灯	石川県かほく市	沖野 晶子
おはようの手話を交わして花水木	群馬県前橋市	木下 美樹枝
着る前のドレスの如く白き薔薇	千葉県旭市	まる子
卒業や未だに書けぬ謝罪文	愛知県名古屋市	高原 大知
草刈りて仏間に風を通しけり	茨城県北相馬郡利根町	長島 貴子
青梅や雨の匂ひの夜となり	愛知県清須市	和田 始子

准 賞 【一般部門】

棟 梁 の 指 定 席 あ り 朝 焚 火	群 馬 県 藤 岡 市	飯 島 慶 子
春 の 夜 は 付 箋 の 如 く 眠 り た し	東 京 都 板 橋 区	山 月 恍
大 空 を 置 き 去 り に し て 鶴 帰 る	神 奈 川 県 横 浜 市	山 田 知 明
心 音 が 空 ま で 届 く 秋 高 し	神 奈 川 県 横 浜 市	大 坪 覚
「いのちってなあに」と問ふ子聖五月	群 馬 県 高 崎 市	遠 藤 幸 子
夜 を 徹 し 誘 導 灯 振 る 去 年 今 年	京 都 府 京 都 市	十 川 長 峻
空 高 し お そ ろ し 母 の 目 分 量	岐 阜 県 大 津 市	小 見 明 子
月 山 の 裾 に 抱 か れ さ く ら ん ぼ	山 形 県 上 山 市	石 井 浩 吉
青 春 と 言 ひ て 夏 帽 目 深 な る	東 京 都 世 田 谷 区	堤 亜 由 美
更 衣 へ て 父 母 少 し 若 返 る	千 葉 県 習 志 野 市	宮 沢 恵 理

入 選 【一般部門】

稲畑 廣太郎 選

三月の風に絡まる鮑屑 山口県 藤井 香子
滑り台登れば月の句ひかな 東京都 伊勢 史朗
心音が空まで届く秋高し 神奈川県 大坪 寛
青春と言ひて夏帽目深なる 東京都 堤 亜由美
曼殊沙華故郷までの道しるべ 奈良県 浦城 亮祐
家の灯の五つ六つあり虫時雨 熊本県 松浦 希希
秋涼し一人で結ぶ靴の紐 徳島県 澤田 典典
湯けむりと梅の香りが包む町 神奈川県 つるや すたか
大空を置き去りにして鶴帰る 神奈川県 山田 知明
山猿は門より入らず若葉風 大阪府 平畑 和子

大輪 靖宏 選

おはようの手話を交わして花水木 群馬県 木下 美樹枝
曼殊沙華故郷までの道しるべ 奈良県 浦城 亮祐
馴れ初めを語り傘寿がりんご剥く 北海道 穂苅 敏
更衣へて父母少し若返る 千葉県 宮沢 恵理
青梅や雨の句ひの夜となり 愛知県 和田 始子
美ら海の旅のたよりや夏の雲 東京都 光延 京子
あの窓は小児病棟聖樹の灯 石川県 沖野 晶子
秋涼し一人で結ぶ靴の紐 徳島県 澤田 典典
春の綴生またひとりと逝く昭和の日 岐阜県 柏木 孝文
春の風つばめと共にやってくる 神奈川県 柏木 孝文

岩岡 中正 選

追伸に蒔味噌ひとつ加へけり 岐阜県 小見 伸雄
春の夜は付箋の如く眠りたし 東京都 山月 悦
滑り台登れば月の句ひかな 東京都 伊勢 史朗
波乗りのごとくアイロン掛ける祖母 神奈川県 須山 恵美
草刈りて仏間に風を通しけり 茨城県 長島 貴子
馬術部の白馬眩しき聖五月 岡山県 井上 すぎ菜
夏座敷ケイキコーヒー参考書 愛知県 鈴木 哲也
立ち尺くすわれも一木青嵐 宮城県 渋谷 史恵
懇ろにもてなす女将若緑 東京都 月城 花風
湯けむりと梅の香りが包む町 神奈川県 つるや すたか

中村 和弘 選

剥製のどの眼も澄みぬ秋思かな 福岡県 藤崎 由希子
三月の風に絡まる鮑屑 山口県 藤井 香子
夜を徹し誘導灯振る去年今年 京都府 十川 長峻
湯河原の蜜柑の花の湯に流る 東京都 山崎 啓子
馬術部の白馬眩しき聖五月 岡山県 井上 すぎ菜
空高しおそろし母の目分量 岐阜県 小見 明子
かなかなや水満々の湖に降る 神奈川県 柳川 圭子
月山の裾に抱かれさくらんぼ 山形県 石井 浩吉
シスターの美しき日本語萬青む 東京都 持原 篤子
鎮座した新年会の四天王 茨城県 鳴井 袖紀

筑紫 馨井 選

終戦日「大尉」は二十三のまま 福岡県 荒巻 優華
着る前のドレスの如く白き薔薇 千葉県 まる子
山笑うミセスの店の乙女たち 岐阜県 高尾 加世
空高しおそろし母の目分量 岐阜県 小見 明子
春の雨も大きな夢を語り合ふ 埼玉県 坂塚 雅彦
春の夜は付箋の如く眠りたらし 東京都 坂井 悦
どことなく残響の恋ソング水 埼玉県 宮澤 順子
制服で夕のバラ園内緒話 埼玉県 藤塚 みのり
トンネルの万華鏡めく子どもの日 三重県 服部 あや

永井 江美子 選

おはようの手話を交わして花水木 群馬県 木下 美樹枝
白シャツは皆に秘密のペアルック 神奈川県 青木 みな
「いのちつてなあと」と問ふ子聖五月 群馬県 遠藤 幸子
凍星や大病院の午後八時 山梨県 ルーキー
シスターの美しき日本語萬青む 東京都 持原 篤子
寡黙なる黒いマスクや少年期 大分県 岸本 恵美
すり傷の治つたところに金木犀 宮城県 佐藤 詠子
馬術部の白馬眩しき聖五月 岡山県 井上 すぎ菜
青春と言ひて夏帽目深なる 東京都 堤 亜由美
キャンパスの空青々とみかん花 東京都 平久保 好一

森田 純一郎 選

着る前のドレスの如く白き薔薇 千葉県 まる子
大空を置き去りにして鶴帰る 神奈川県 山田 知明
青梅や雨の句ひの夜となり 愛知県 和田 始子
月山の裾に抱かれさくらんぼ 山形県 石井 浩吉
あの窓は小児病棟聖樹の灯 石川県 沖野 晶子
曼殊沙華故郷までの道しるべ 奈良県 浦城 亮祐
向日葵に思いを馳せるウクライナ 岐阜県 海原 海華
水の張る田の煌めきを車行く 神奈川県 和歌浦 竜
棟梁の指定席あり朝焚火 群馬県 飯島 慶子
春風や色さまざまランドセル 茨城県 湯本 康二

鈴木 しげを 選

リニクから青葱シユツと上り坂 東京都 小野 史
百過ぎて握る手強し菊日和 富山県 折田 祐宇
草刈りて仏間に風を通しけり 茨城県 長島 貴子
春まちが妻の恵阻よ軽くなれ 埼玉県 坂田 有
馬術部の白馬眩しき聖五月 岡山県 井上 すぎ菜
はつなつの富士の隠れし三崎港 神奈川県 小林 衆馬
梅雨寒やながき睫毛の麒麟の仔 長野県 穂苅 陽子
更衣へて父母少し若返る 千葉県 宮沢 恵理
三月の風に絡まる鮑屑 山口県 藤井 香子
湯けむりと梅の香りが包む町 神奈川県 つるや すたか

西山 睦 選

馬術部の白馬眩しき聖五月 岡山県 井上 すぎ菜
滑り台登れば月の句ひかな 東京都 伊勢 史朗
卒業や未だに書けぬ謝罪文 愛知県 高原 大知
参加賞に桜の実を子にもらう 京都府 松本 俊彦
久々に父の居る家緑さす 和歌山県 寺口 智子
三月の風に絡まる鮑屑 山口県 藤井 香子
心音が空まで届く秋高し 神奈川県 大坪 寛
夜を徹し誘導灯振る去年今年 京都府 十川 長峻
西日差しカーテン閉めるピアノ室 岩手県 石川 明世
スクリーン水の色して夏終る 兵庫県 稲谷 有紀

田中 悦子 選

棟梁の指定席あり朝焚火 群馬県 飯島 慶子
花冷えや別れの言葉リモートで 群馬県 大島 風姿
昨日という記憶なき母初御空 京都府 岸野 由夏里
あの窓は小児病棟聖樹の灯 石川県 沖野 晶子
卒業や未だに書けぬ謝罪文 愛知県 高原 大知
春雨や手話のけんかを仲裁す 埼玉県 原本 純人
「いのちつてなあと」と問ふ子聖五月 群馬県 遠藤 幸子
寡黙なる黒いマスクや少年期 大分県 岸本 恵美
シヤボン玉夢の分だけ吹いてみる 福島県 川島 妙
赤子抱き張る乳と夏の丸い月 静岡県 大野 さなえ

優秀賞 【ジュニア部門】小学生

時期になり今だ今だとふきのとう

神奈川県 七沢希望の丘初等学校

戸井 麟太郎

とうさんの右うでになる雪をかく

富山県 高岡市立伏木小学校

村田 紘都

風をきれリベンジするぞ運動会

神奈川県 日本大学藤沢小学校

重田 蒼空

春の星ひとつうるめばみなうるむ

神奈川県 湯河原町立湯河原小学校

伊澤 圭悟

新芽見て力をもらおう新学期

神奈川県 湯河原町立吉浜小学校

浅倉 陽斗

夏日がねテスト中のぼくあたる

神奈川県 七沢希望の丘初等学校

豊島 玲太郎

ツバメの巣私のお家二世帯に

愛知県 西尾市立鶴城小学校

沖田 蒼依

はる休み十かいできた二じゅうとび

富山県 高岡市立伏木小学校

山崎 鈴華

紫陽花が雨に打たれて立ちあがる

神奈川県 日本大学藤沢小学校

馬 悠然

花火見る弟の目が赤青黄

神奈川県 洗足学園小学校

有馬 瑠梨

優秀賞 【ジュニア部門】中学生

冷蔵庫のぞいてしめる三時頃

神奈川県 湯河原町立湯河原中学校

二見 夏悠

暗い空梅雨の匂いが甘ずっぱい

神奈川県 湯河原町立湯河原中学校

森山 瀬里奈

先輩の部活の試合光る汗

神奈川県 湯河原町立湯河原中学校

松坂 菜央

ストレート投げ込んでくる冬の朝

茨城県 茨城県立下館第一高等学校附属中学校

植木 芽依

プラモデル暑さ忘れて無我夢中

神奈川県 湯河原町立湯河原中学校

小澤 宗馬

コロナ禍の試合開催感謝する

岐阜県 川辺町立川辺中学校

福井 心満

晴天に追う白球や汗きらり

愛知県 東海学園東海中学校

伊東 遼

夏の空殺人的な陽が昇る

神奈川県 横浜市立南戸塚中学校

島津 陽

進級し後輩できて先輩だ

岐阜県 川辺町立川辺中学校

瀬瀬 瑛音

やってきたブーンと蚊がテスト中

神奈川県 横浜市立南戸塚中学校

伊藤 桂

優秀賞 【ジュニア部門】 高校生

朝の抜け殻のたましいは風船

愛媛県 愛媛県立今治西高等学校伯方分校

馬場 叶羽

頬赤く染まるはきつと雪のせい

山口県 柳井学園高等学校

宍石 セイメイヤマト

帰り道遠回りする夏の夜

愛知県 愛知県立安城高校

加藤 桃亜

人の声なき継ぎはぎの島霞む

愛媛県 愛媛県立今治西高等学校伯方分校

阿部 縁

狂飊は問う菜の花蝶に化せるか

愛知県 鹿島学園高等学校

渡邊 真菜

蛙鳴く私の失言消すごとく

岩手県 岩手県立水沢高等学校

鈴木 綾乃

君と見た花火の記憶の消味期限

長崎県 長崎県立長崎東高等学校

中川 亜美

今までの軌跡が奇跡に変わる夏

山口県 柳井学園高等学校

梶本 大揮

絶望も不安もいつか夏祓

埼玉県 埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園

豊島 縁

遠近法指でつまんだ初日の出

愛知県 愛知県立安城高校

荻野 果歩

入 選 【ジュニア部門】小学生

霜柱踏んでみると楽器のよう	神奈川県	洗足学園小学校	井田 千尋
ランドセルさくらさくたび小さくなる	愛知県	西尾市立鶴城小学校	神谷 優衣
海の中フラダンスする和布たち	熊本県	荒尾市立府本小学校	橋本 和夏
父さんとぜんまいをとるすずが鳴る	富山県	高岡市立伏木小学校	松野 晃大
春のにおいは窓から体を乗り出して	富山県	高岡市立伏木小学校	魚川 実莉
水曜日朝昼夜とカレーの冬	富山県	高岡市立伏木小学校	吉野 貴平
ねえちゃんと家のそうじだ冬休み	富山県	高岡市立伏木小学校	谷口 愛心
ウミガメよそこから陸はどう見える	神奈川県	洗足学園小学校	花島 志穂
学校は歩いて五分チューリップ	新潟県	新潟市立白山小学校	小川 智輝
しゅくだいする五時のチャイムが鳴って春	富山県	高岡市立伏木小学校	関 奈海
入学後姉のわたしは荷物持ち	愛知県	西尾市立鶴城小学校	鈴木 里歩
かくれんぼ子ねこはとだなの上にいる	富山県	高岡市立伏木小学校	熊本 羽乃
かき氷いつきに食べて北極だ	神奈川県	日本大学藤沢小学校	上妻 亜門
もうすぐで二年生だよつくしんぼ	富山県	高岡市立伏木小学校	前原 琉風
ねちがえる頭大きい雪だるま	富山県	高岡市立伏木小学校	吉田 廉太郎
風に乗りえさをくわえた親つばめ	神奈川県	日本大学藤沢小学校	堂脇 理芽依
かいねこのたんじょう日が子どもの日	神奈川県	湯河原町立吉浜小学校	長塚 海人
吹雪の日缶コーヒーがよく売れる	神奈川県	洗足学園小学校	森 颯希
かしわもち大きな葉つばにかくれんぼ	愛知県	西尾市立鶴城小学校	牧 美月

入 選 【ジュニア部門】 中 校 生

満開の桜のような笑顔かな	神奈川県	横浜女学院中学校	改井	菜々花
冷えてても麦茶のコップがあせをかく	岐阜県	川辺町立川辺中学校	田口	青
夏休みいろんな場所に冒険だ	神奈川県	湯河原町立湯河原中学校	加藤	仁
中学校なれない日々に悩む春	長崎県	長崎市立淵中学校	酒井	光明
カブトムシいっしょにくらす一週間	神奈川県	湯河原町立湯河原中学校	仲平	旬
緊張のリズム高なる新入生	長崎県	長崎市立淵中学校	井島	千代音
冷蔵庫開けるとそこには宝石が	神奈川県	湯河原町立湯河原中学校	吉田	さくら
若葉見て母が一言食べれそう	神奈川県	清泉女学院中学校	竹上	葵
散り桜一つ一つに顔がある	長崎県	長崎市立淵中学校	明星	佑彌
青空を入道雲がとおせんぼ	長崎県	長崎市立淵中学校	川津	花璃
海行つて日焼けしすぎて風呂痛い	神奈川県	横浜市立南戸塚中学校	古川	紋寧
凄まじい癒しのひととき滝の音	神奈川県	横浜市立南戸塚中学校	横田	琉菜
初詣いつもと同じ願い事	神奈川県	横浜市立南戸塚中学校	藤村	斗真
初恋のあの子を探す夏祭り	長崎県	長崎市立淵中学校	開野	智晴
夏の夜まるで空には蛍烏賊	神奈川県	横浜市立南戸塚中学校	近藤	かりん
運動会顔みて笑うマスクやけ	神奈川県	湯河原町立湯河原中学校	菊池	悠斗
夏の山すき通る風水の音	長崎県	長崎市立淵中学校	松尾	愛実
温泉に浸かれば梅の香りする	神奈川県	横浜市立南戸塚中学校	古内	涼愛
祭の夜外はにぎやか耳とれる	神奈川県	湯河原町立湯河原中学校	國井	優杏

入 選 【ジュニア部門】 高校生

ベランダに並ぶドングリ保育園	愛知県	愛知県立安城高等学校	山田	涼加
窓の外涙のようななごり雪	山口県	柳井学園高等学校	富樫	彩衣花
私ごと全て認めて冬銀河	愛知県	愛知県立安城高等学校	真島	志歩
万愚節明るき檻の保育園	愛知県	名古屋高等学校	幸村	遥都
正露丸飲み下す夜の冷たさよ	愛媛県	愛媛県立松山東高等学校	田邊	広大
「いつもの」と卒業の日の喫茶店	愛媛県	愛媛県立松山東高等学校	谷口	春菜
亡き祖母の浴衣と帯で夏祭り	栃木県	白鷗大学足利高等学校	石塚	瑞貴
もみじの葉重ねる僕の手赤々と	山口県	柳井学園高等学校	打越	袖衣
思ひ出が劇場となる春の夢	愛知県	愛知県立安城高等学校	甲田	沙琥也
あなたへと春風の吹くわが思い	茨城県	茨城県立結城第二高等学校	熊倉	梨咲
窓越しに合わせる目と目猫の恋	神奈川県	清泉女学院高等学校	小山	香恰
桜咲き止まった記憶よみがえる	愛知県	愛知県立安城高等学校	山本	梨乃
桜咲き心の中も満開だ	愛知県	愛知県立安城高等学校	竹中	心愛
べんとうにおでん入れるのかんべんよ	神奈川県	清泉女学院高等学校	寺田	美優
満天の星空の下孤独かな	茨城県	茨城県立結城第二高等学校	北島	夏子
ウクライナ次の春には笑顔かな	愛知県	愛知県立安城高等学校	高野	里桜
先輩の背中目指してつばめ追ひ	山口県	柳井学園高等学校	元木	優香
意地っ張りだけど心はカーネーション	神奈川県	清泉女学院高等学校	稲垣	美月
初蛭見つけて声が響く夜	山口県	柳井学園高等学校	浅本	菜里
アイス詰め込む発車ベル五秒前	東京都	立教池袋高等学校	岡部	優司

当日句入賞・入選作品一覽

大会会長特賞…………… 35

選者特選賞…………… 35

正賞…………… 36

准賞…………… 37

入選…………… 38

当日句 大会会長特賞

石やがて雲となりゆく小春かな 神奈川県藤沢市 佐野 典比古

当日句 選者特選賞

岡安 紀元 選

紅葉且つ散るせせらぎに色移し 神奈川県相模原市 杉 美春

木村 享史 選

湯煙の先は浄土か紅葉降る 神奈川県中井町 長谷川 昭放

田丸 千種 選

御神木の胴に神力神の留守 神奈川県秦野市 佐々木 重満

秋尾 敏 選

石やがて雲となりゆく小春かな 神奈川県藤沢市 佐野 典比古

筑紫 磐井 選

どんぐりを四十路の娘に見せる父 群馬県藤岡市 飯島 慶子

後藤 章 選

喬木に柵をめぐらせ神の留守 東京都世田谷区 丹羽 早苗

今井 聖 選

朝市に体操の輪や冬日和 埼玉県川口市 齋藤 眞理子

權 未知子 選

湯の町の湯にある掬枯蟻螂 神奈川県横浜市 麻生 明

徳田 千鶴子 選

もののふのこゑ潜ませて山眠る 神奈川県湯河原町 高橋 千鶴子

伊藤 眠 選

冬うらら皆触れてゆくご神木 神奈川県秦野市 八木 和子

大本 尚 選

小春日や風なすままに恋の絵馬 東京都文京区 山本 祐子

内藤 ちよみ 選

「スイミー」の絵本置くカフェ散紅葉 東京都日野市 佐藤 洋子

平田 薫 選

石やがて雲となりゆく小春かな 神奈川県藤沢市 佐野 典比古

なつ はずき 選

小春風手湯に始まる旅ひとつ 神奈川県茅ヶ崎市 坂口 和代

佐藤 久 選

小春日や風なすままに恋の絵馬 東京都文京区 山本 祐子

当日句 正賞

岡安 紀元 選

もの の ふのこゑ 潜ませて山眠る

神奈川県湯河原町

高橋 千鶴子

木村 享史 選

母をればみなゆつたりと小春の日

神奈川県横浜市

中村 時子

田丸 千種 選

行く秋や足湯ほのぼの雲うつし

東京都大田区

根本 たいこ

秋尾 敏 選

万葉のおとろへもなし冬の滝

神奈川県横須賀市

比留間 加代

筑紫 磐井 選

風ゆれて母との会話小鳥来る

神奈川県湯河原町

樋渡 裕子

後藤 章 選

石やがて雲となりゆく小春かな

神奈川県藤沢市

佐野 典比古

今井 聖 選

石やがて雲となりゆく小春かな

神奈川県藤沢市

佐野 典比古

榎 未知子 選

相聞歌よみといてゐる小春かな

神奈川県湯河原町

高橋 千鶴子

徳田 千鶴子 選

手に受くる木の葉天使の羽根のごと

岐阜県郡上市

高橋 治子

伊藤 眠 選

駅見ゆる書肆の軒借る初時雨

富山県高岡市

北川 秀子

大本 尚 選

ひらがなを書くやうに降るもみぢかな

埼玉県行田市

大塚 雅彦

内藤 ちよみ 選

冬ぬくし堂に小さき女下駄

神奈川県真鶴町

武村 桂子

平田 薫 選

ひらがなを書くやうに降るもみぢかな

埼玉県行田市

大塚 雅彦

なつ はずき 選

万葉の川音つなぐ冬紅葉

神奈川県南足柄市

加藤 かほる

佐藤 久 選

冬ぬくし堂に小さき女下駄

神奈川県真鶴町

武村 桂子

当日句 准賞

岡安 紀元 選

万葉の風に急され木の葉散る

神奈川県茅ヶ崎市 日高 朝代

木村 享史 選

冬天を押し上ぐ樹齢八百年

東京都北区 千明 素子

田丸 千種 選

寒禽や拝殿の中覗きたく

東京都国立市 向井 麻代

秋尾 敏 選

五所神社神様九人出雲へと

埼玉県さいたま市 原 瑞恵

筑紫 磐井 選

イソップのつづきはあした冬ぬくし

神奈川県横浜市 中村 時子

後藤 章 選

大袋のみかんを抱え祈りおり

神奈川県横浜市 小林 碧江

今井 聖 選

原色の晩秋を噴くひとところ

神奈川県横浜市 麻生 明

櫛 未知子 選

小春日や風なすままに恋の絵馬

東京都文京区 山本 祐子

徳田 千鶴子 選

薄原数多の声を持ち帰る

神奈川県小田原市 宮崎 悦女

伊藤 眠 選

神さぶる楠に手をあて冬温くき

神奈川県大和市 栗林 浩

大本 尚 選

日だまりにしぼし魂置く冬の蝶

神奈川県茅ヶ崎市 川口 しのぶ

内藤 ちよみ 選

湯の町の湯にある掬枯蟪蛄

神奈川県横浜市 麻生 明

平田 薫 選

湯河原は空気が旨い海山の四季彩々の匂い香し

神奈川県湯河原町 木戸 廣吉

なつ はずき 選

湯の町の湯にある掬枯蟪蛄

神奈川県横浜市 麻生 明

佐藤 久 選

小春日や狸に託す恋の絵馬

神奈川県茅ヶ崎市 角田 智子

当日句 入選

岡安 紀元 選

ほつこりと十一月の湯のけむり
大地にも空にも千の冬紅葉
旅人の二つほど買ふ蜜柑かな
川沿ひに理三匹枯落葉
八百年生きて大楠雁渡る
万葉の彩重なりて柿落葉

神奈川 武田 喜代子
神奈川 宮永 武彦
大阪府 宮沢 恵理
神奈川 澁谷 徹
神奈川 松田 ます子
神奈川 松澤 幸千

木村 享史 選

万葉の彩重なりて柿落葉
ひらがなを書くやうに降るもみぢかな
小春日や風なすままに恋の絵馬
天高し注連も古りたり大銀杏
御神木両手ひろげて冬茜
ほんのりと湯の香まとひて山粧ふ
湯の香る里の遠近冬紅葉

神奈川 松田 ます子
埼玉 大塚 雅彦
東京 山本 祐子
神奈川 富岡 定子
東京 根本 たいこ
神奈川 清水 呑舟
神奈川 高橋 育子

田丸 千種 選

小春日や風なすままに恋の絵馬
サーファアのぐらりと冬の海光る
石蓆の花足湯を囲む歴大小
大楠の森しんしんと神の留守
おちばがねみんなにげてつちやうんだよ
万葉の歌碑にかりねや秋の蝶
ほんのりと湯の香まとひて山粧ふ

東京 山本 祐子
東京 堤 亜田美
東京 山口 みはる
静岡 須藤 剛一
神奈川 松澤 幸千
神奈川 西岡 青波
神奈川 清水 呑舟

秋尾 敏 選

サーファアのぐらりと冬の海光る
冬草のかがよふ朝の送迎車
手水舎の湯のこんこんと冬ぬくし
温泉町午後には時雨てふ予報
立冬のダブルフォルトのごと日没
あしだけのおんせんにおちばがうかんでる
薄原数多の声をもち帰る

東京 堤 亜田美
神奈川 堀口 みゆき
千葉 唐鎌 良枝
東京 須川 久
愛媛 藤田 敦子
神奈川 松澤 幸千
神奈川 宮崎 悦女

筑紫 磐井 選

紅葉かつ散る旅人にも足湯にも
ひらがなを書くやうに降るもみぢかな
千歳折れし樹も黄落の時迎ふ
冬泉町午後には時雨てふ予報
冬ぬくし堂に小さき女下駄
石やがて雲となりゆく小春かな

神奈川 角田 智子
埼玉 大塚 雅彦
埼玉 原 瑞恵
神奈川 木村 満津子
東京 須川 久
神奈川 武村 桂子
神奈川 佐野 典比古

後藤 章 選

相聞歌よみといてある小春かな
神木の女郎蜘蛛より糸光る
小春たまはる大楠に触れてより
神さぶる楠に手をあて冬温くき
2・26の光風荘跡いてふ散る
冬天を押し上ぐ樹齡八百年
湯気の出る排水溝や冬もみじ

神奈川 高橋 千鶴子
神奈川 鈴木 寿乃
大阪 宮沢 恵理
神奈川 栗林 浩
神奈川 二上 貴夫
東京 千明 素子
神奈川 尾崎 知子

今井 聖 選

石段を登る内股落葉踏む
冬紅葉あの一隅を指す坂
冬蝶のひらひら古稀の我に似て
万葉のおとろへもなし冬の滝
瀬音にも色あるごとし冬紅葉
神木に冬越す力いたたく手
どんぐりを四十路の娘に見せる父

東京 向井 麻代
神奈川 山本 よしえ
神奈川 小林 港子
神奈川 比留間 加代
神奈川 田阪 武夫
神奈川 加藤 房子
群馬 飯島 慶子

権 未知子 選

日だまりにしばし魂置く冬の蝶
冬草のかがよふ朝の送迎車
湯ぬくし堂に小さき女下駄
湯守りらし落葉まみれの狸古り
小春たまはる大楠に触れてより
大楠の森しんしんと神の留守
初冬や空掴み立つ御神木

神奈川 川口 しのぶ
神奈川 堀口 みゆき
神奈川 武村 桂子
神奈川 北村 文江
大阪 宮沢 恵理
静岡 須藤 剛一
神奈川 坂口 和代

徳田 千鶴子 選

石蓆の花瀬音高鳴るひとところ
拝殿の鈴の高鳴り神の留守
紅葉狩声登り来る谿の径
神さぶる楠に手をあて冬温くき
瀬音にも色あるごとし冬紅葉
万葉の言の葉遊ぶ風は秋
渾身てふ冬滝の声森を流ぶ

東京都 山本 祐子
千葉県 唐鎌 良枝
神奈川 今井 慶子
神奈川 栗林 浩
神奈川 田阪 武夫
神奈川 成田 眞啓
神奈川 清水 呑舟

伊藤 眠 選

相聞歌よみといてある小春かな
大湯煙の先は浄土か紅葉降る
神苑の森しんしんと神の留守
神苑の千年楠や秋寂ぶる
坂道の多き湯の町冬ざくら
金秋へ強く押出すシルバーク
宿木にしばし仮寝の散紅葉

神奈川 高橋 千鶴子
神奈川 長谷川 昭放
静岡 須藤 剛一
神奈川 今井 慶子
神奈川 高橋 洋子
神奈川 西岡 青波
神奈川 伊藤 あつ子

大本 尚 選

神木に宿る言霊聞く小春
湯の香る里の遠近冬紅葉
冬天を押し上ぐ樹齡八百年
初冬や空掴み立つ御神木
瀬音にも色あるごとし冬紅葉
そこだけに風あるやうに落葉舞ふ
宿木にしばし仮寝の散紅葉

鳥取 椋 則子
神奈川 高橋 育子
東京 千明 素子
神奈川 坂口 和代
神奈川 田阪 武夫
神奈川 橋本 康子
神奈川 伊藤 あつ子

内藤 ちよみ 選

ポケットにいつもどんぐりねむつて
冬紅葉今を輝くやうに生く
神木に宿る言霊聞く小春
紅葉かつ散る万葉歌碑を誦しをれば
アナログの世がやは好き散紅葉
金別れきて桜紅葉うらおもて
金秋へ強く押出すシルバーク

東京 沢目 真由
鳥取 椋 則子
鳥取 椋 則子
静岡 鈴木 齊夫
神奈川 服部 辰雄
神奈川 桑野 コロシ
神奈川 西岡 青波

平田 薫 選

湯河原の海は平らか秋日和
サーファアのぐらりと冬の海光る
鳥声も風音も呼ぶ小春風
雨来ての晴れての谿の紅葉かな
御神木両手ひろげて冬茜
おちばがねみんなにげてつちやうんだよ
冬うらら皆触れてゆくご神木

神奈川 杉 美春
東京 堤 亜田美
東京 松本 広子
神奈川 今井 雅裕
東京都 根本 たいこ
神奈川 松澤 幸千
神奈川 八木 和子

なつ はづき 選

石やがて雲となりゆく小春かな
ポケットにいつもどんぐりねむつて
紅葉狩声登り来る谿の径
神苑に雲啄むか鳴しきり
湯の里に俳徒溢れる小六月
湯の町に魚屋多し実南天
渾身てふ冬滝の声森を流ぶ

神奈川 佐野 典比古
東京 沢目 真由
神奈川 今井 慶子
神奈川 榎戸 洋子
神奈川 日高 朝代
神奈川 須田 聡子
神奈川 清水 呑舟

佐藤 久 選

喬木に柵をめぐらせ神の留守
小春たまはる大楠に触れてより
ハイヒール脱いで粧う山に入る
神苑の千年楠や秋寂ぶる
冬日影大黒天の大笑い
おちばがねみんなにげてつちやうんだよ
万葉の風に急され木の葉散る

東京都 丹羽 早苗
大阪 宮沢 恵理
岡山 井上 すぎ葉
神奈川 今井 慶子
神奈川 小林 港子
神奈川 松澤 幸千
神奈川 日高 朝代



写真一覽



1 湯河原駅





2 吟行会場 (万葉公園)



3 吟行会場 (五所神社)



4 記念式典



オープニング



開始式



歓迎アトラクション (狂言師 大藏彌太郎)



記念講演 (俳人 黛まどか)



閉会式



5

会場風景

バス発着所



キッチンカー

参加受付所



投句受付



未病改善ブース



書籍販売ブース



会場風景



農産物販売ブース



観光コンシェルジュ



6 表彰式



高齢者部門 選者特選賞



高齢者部門 「正賞」



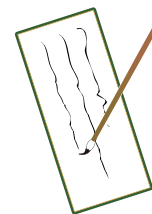
高齢者部門 「准賞」



一般部門 「選者特選賞」



高齢者部門 「正賞」



一般部門 「准賞」



ジュニア部門 「小学生」



ジュニア部門 「中学生」



ジュニア部門 「高校生」



当日句表彰式 「大会会長賞」





7 実行委員会・PR活動

実行委員会



PR活動



祝 令和5年度 愛媛大会 開催

えがお
ねんりんピック愛顔のえひめ 2023

俳句交流大会（松山市）
の盛会を祈念いたします

ねんりんピックかながわ 2022 湯河原町実行委員会一同



【開催日】 令和5年 10月 29日（日）

【会 場】 松山市立子規記念博物館

《編集後記》

令和4年11月に湯河原町で開催いたしました俳句交流大会には、全国から多くの皆さまにご参加いただき、また、関係機関・関係団体皆さま方のご協力をいただき、盛況のうちに無事終えることができました。

皆さま、誠にありがとうございました。

ねんりんピックかながわ 2022 湯河原町実行委員会事務局
(湯河原町役場介護課内)

事務局長 大野 真伸

事務局次長 鈴木 義則

事務局員 青木 みな



第34回 全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会
ねんりんピックかながわ2022
神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔 未病改善でスマイル100歳
2022/11/12(土) - 2022/11/15(火)



★動画配信中★

ねんりんピック湯河原

検索

ねんりんピックかながわ2022俳句交流大会報告書

令和5年2月発行

ねんりんピックかながわ2022湯河原町実行委員会
〒259-0392 湯河原町中央二丁目2番地1 湯河原町役場介護課内
TEL 0465-63-2111 (内線340) FAX 0465-63-2384